「STI for SDGs」 アワード実施要領

平成 31 年 6 月 4 日　制定
令和 2 年 4 月 1 日　改訂
令和 3 年 4 月 15 日　改訂
国立研究開発法人科学技術振興機構
「科学と社会」推進部

「STI for SDGs」アワード表彰の実施に関し、必要な要領を以下のとおり定める。

１．目的

「STI for SDGs」アワードは、未来共創推進事業の一環として、科学技術イノベーション（以下、「STI」という。）を用いて社会課題を解決する地域における優れた取組を表彰することで、当該取組のさらなる発展や同様の社会課題を抱える地域への水平展開を促し、もって持続可能な開発目標（以下、「SDGs」という。）の達成に貢献することを目的として実施する。

２．募集・応募の概要

(1)募集・評価のスケジュール

本アワードのスケジュールは以下のとおりとする。

・取組募集期間：各年度前半に２ヶ月程度の期間を設け募集する
・書類選考：募集締切後、委員による査読を経て締切１ヶ月後を目安に実施する
・面接選考：書類選考後１ヶ月以内を目安に実施する
・表彰式　：原則として科学技術振興機構主催「サイエンスアゴラ」にて開催する

(2)募集対象となる取組

本アワードは科学技術イノベーション（STI）を用いて社会課題を解決し、もって SDGs の達成を目指す地域における具体的な活動を実施する国内の取組を募集対象とする。

(3)応募可能機関

本アワードは(2)の取組を実施する団体[1]による応募を受け付ける（自薦のみ）。

(4)応募方法

本アワードへの応募を希望する団体は取組の概要、使用している科学技術イノベーション、自己評価、今後の計画等、所定の様式に定める必要事項を記入の上、提出する。

[1] 団体とは、民間企業、市民団体、学術団体、地方自治体、教育機関（大学、高等学校等のサークル）など何らかの活動を組織立って行うものとし、特に規模等の制限は設けない。

○応募における必要事項

項目	記載内容
団体名	・本アワードに応募する取組の実施団体の名称
連絡先	・実施団体に関する問合せ先（住所、電話番号、メールアドレス）
担当者名	・本アワードに関する事務局との連絡窓口となる担当者の氏名 （高校生以下の応募の場合、成人の責任者名を記載）
取組名	・応募する取組の名称
取組概要	・応募する取組の活動の要旨
取組の開始時期	・応募する取組の活動開始時期
主な活動地域	・応募する取組の主な活動地域
特に重視する SDGs 目標	・応募する取組が特に重視している SDGs 目標
対象とする社会課題	・応募する取組が解決を目指している社会課題
取組の内容	・応募する取組の具体的な活動内容・特長 ・評価項目を踏まえた取組内容に関する自己評価
活用する科学技術 イノベーション	・応募する取組の中で、社会課題の解決に向け活用している科学技術イノベーションの詳細、特長、新規性、独自性など
取組の今後の計画および 2030 年に向けた目標	・実施団体が考える、取組の今後の具体的な展開、予定 ・2030 年に向けて掲げている目標や抱負
取組が社会に与える影響	・応募する取組が経済、環境など社会に与える具体的な影響（具体的な数値、データを用いて記載） ・応募する取組において考えられるステークホルダー
参考資料	・選考に当たり、取組の理解の一助となる資料があれば、添付

(5)応募における注意事項

・応募内容に不備があった場合、事務局による外形要件の確認で評価対象外となる。

・類似の賞の受賞歴等は参考評価とし、加点対象として扱わない。

３．評価方法

評価は書類選考と面接選考の 2 段階とする。評価は科学技術振興機構が委嘱する委員により構成された選考委員会が実施する。

(1)書類選考

期限までに応募のあった取組について、事務局による外形要件の確認を行った後、選考委員会による書類選考を行う。書類選考では、選考委員は各取組について、別に定める評価基準の項目を元にした評価、および取組に関するコメントを行い、選考委員会として面接選考に通過する取組を決定する。

(2)書類選考結果の通知

書類選考の結果、面接選考に通過した取組については、面接選考の要領（日程、会場）等を決定後速やかに事務局から応募書面に記載された担当者宛に通知する。

(3)面接選考

面接選考に通過した取組について、選考委員会による面接選考を行う。面接選考では、各取組の運営団体の代表者は選考委員会と面談を行い、取組の説明を行う。選考委員は各取組について、選考委員会として、表彰対象となる取組を決定する。

(4)表彰対象となった取組に関する通知

面接選考の結果、表彰対象となった取組については、受賞内容およびサイエンスアゴラにおける表彰式への参加確認等について、受賞内容決定後速やかに事務局から応募書面に記載された担当者宛に通知する。

(5)評価基準

評価における基準は以下のとおりとする。

①事務局による外形要件の確認項目

項目	視点
取組の概要	・本アワードの目的に合致した取組であるか。 ・内容に不備がなく、評価に必要な事項が記載されているか。 ・過度に冗長な記載となっていないか。
取組で利用する科学技術イノベーション	
取組の自己評価	
取組の今後の計画	

②選考委員会による評価項目

	項目	視点
1	包摂性	・SDGs の「誰一人取り残さない」という理念に沿った取組であるか。 ・人権の尊重や多様性の観点を勘案した取組であるか。
2	統合性	・単一の社会課題、SDGs 目標だけでなく、複数の社会課題の解決、SDGs 目標の達成を目指す、統合的解決の視点を持った取組であるか。
3	科学技術イノベーションの活用	・対象となる社会課題に対して、科学技術イノベーションが重要な役割を担っている取組であるか。
4	革新性、独創性	・社会課題の解決手段や着眼点にオリジナリティのある取組であるか。
5	展開性	・課題解決に向けた取組に普遍性があり、他地域への水平展開が可能な取組であるか。
6	継続性	・社会課題の解決が一時的なものではなく、持続的な解決が図られる取組であるか。
7	マルチステークホルダー参加型	・地域の社会課題の当事者が主体的に参加している取組であるか。 ・多様なステークホルダーが参画し、それぞれの英知を結集した取組であるか。
8	ストーリー性	・SDGs の達成、または地域における社会課題の解決に向けたストーリーが明確な取組であるか。

③各評価項目の採点基準

点数	評価
5	評価視点を十分に満たし非常に優れている。
4	評価視点を満たし優れている。
3	評価視点を満たしている。
2	評価視点に一歩及ばない。
1	評価視点を大きく下回る。

④総合評価の採点基準

点数	評価
9～10	非常に優れた取組。
7～8	優れた取組。
5～6	標準的な取組。
3～4	標準的なレベルに達していない取組。
1～2	標準的なレベルを大きく下回る取組。

(6)評価における注意事項

- 評価において、事務局から各団体に対し、追加書面の提出を求める場合がある。
- 書類選考における評価項目中、「科学技術イノベーションの活用」または「展開性」が 2 点以下の評価を受けた取組については、表彰対象としない。
- 評価に関する一切の照会等は受け付けない。

４．表彰

(1)表彰対象

本アワードでの評価を通じ、選定する取組の表彰対象は以下の通り。

- 文部科学大臣賞（1 件）
- 科学技術振興機構理事長賞（1 件）
- 優秀賞（4 件程度）
- 次世代賞（3 件程度）　　他

※ 賞の名称と件数は変更となる場合がある。

(2)表彰方法

(1)の各賞に選定された取組については、科学技術振興機構が主催する「サイエンスアゴラ」内で表彰するとともに、他地域への水平展開を目的とした取組の発表を行う。また、面接選考において、表彰対象には至らないものの、他地域への水平展開に資する取組については「サイエンスアゴラ」内において、その取組の概要を掲示する。

５．その他

- 本アワードの事務局は科学技術振興機構「科学と社会」推進部が担当する。
- 応募者が法令違反の容疑により逮捕され、又は逮捕を経ないで控訴を提起された場合等の不正又は不誠実な行為があった場合は、表彰の対象としないことがある。

以　上